

平成19年度病害虫発生予報第7号(10月予報)

今月のトピックス

<http://www3.pref.okinawa.jp/site/view/cateview.jsp?cateid=119>

フタトガリコヤガ (オクラ)

学名 : *Xanthodes transversa*



成虫



若～中齢幼虫



蛹



老齢幼虫

生態と被害

成虫は前翅長17～19mm。体翅は淡黄色で前翅には褐色の線が3本、楔形に走り、外縁部は広く褐色である。老齢幼虫は体長35～40mmでやや細長く、緑色地に鮮明な黄色の条線と黒紋がある。オクラのほかムクゲ、フヨウ、ワタなどで発生が多い。卵は葉裏に1粒ずつ産卵され、若齢幼虫は葉裏から食害し、成長すると中肋や太い葉脈を残し大きく切り取るように食害し、葉はつづらない。幼虫は全体にやや長い毛があり、シャクトリムシ状に歩行する。老齢幼虫は土中で蛹化する。本県では成虫は4～11月にかけて見られ、幼虫は5～6月に最も発生が多いとされる。

予報の見方

- 1) 発生予察情報は、前月の調査に基づき発生程度が「並」以上の病害虫を中心に掲載しています。「やや少」以下の病害虫については通常掲載していません。
- 2) 「発生程度」は平年との比較を示しています。そのため、毎年その月で高い数値が続いた場合には、その月の「発生程度」は密度が高くても「並」として発表されます。前月との多少の比較はグラフを参考にしてください。

平成19年10月1日

沖縄県病害虫防除技術センター